

# 徳泉寺報

No.0017

発行  
平成31年3月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区  
榴岡3-10-3

(022) 297-4248

## 勿忘(わすれな)の鐘

平成三十一年三月十一日・十四時四十六分、真宗大谷派の各有志寺院で『勿忘(わすれな)の鐘』と名付けられた東日本大震災の追悼法要が行われました。これは、被災した陸前高田市本称寺のご住職が始められた法要で、「忘れること勿れ」と願ってこの日を迎え、鐘を撞き、勤行を行います。徳泉寺でも鐘を撞き、ご参集いただいた方たちとともに法要を営みました。



撞鐘(どうしよう)

ついこの間のように感じる東日本大震災ですが八年の月日は確実に流れ、当時小学校一年生だった娘は中学校を卒業しました。あの時の困惑と混乱と恐怖と。忘れることなどないと思っただけで感情や情景も少しずつ日常の中で薄まり、記憶の中に埋もれていくようです。

あの日も電気もガスも止まってはじめて、当たり前が当たり前でないことに気づかされ、いかに恵まれた環境で生活を送っていたのかに思いが至りました。そして次の日、電気と水が復旧したときまず(私たちにできることはなんだろう)と考えました。その時思い出したのが一九九五年一月に起きた阪神淡路大震災のあと、テレビCMで見た水を分け合う被災者の姿です。(そうだ、あれだ!)とすぐにお寺の掲

示板に『水、お湯があります。赤ちゃんのミルク等で必要な方は本堂へお声掛けください』と書いて貼り出しました。当時、近隣のマンションなどでは給水タンクが破損し水の確保が難しかったため、多くの方が水を求めていらっしやいました。そこで安否確認をしたり情報交換をしたりする事もできました。

私たち人間は忘れてしまいます。でも、あの時の感情や情報を語り合うことで伝えていけることがあります。私どもが阪神淡路大震災のテレビCMを思い出して水を供給できたように、私たちが経験したことを身近な人に伝えていくことで、のちの人たちが同じような体験をしたとき、その人の支えになれるかもしれません。

思えば仏教も同じことなのでしょう。この、思うようにならない身を生きる私に、二五〇〇年前から生きてきた先人たちがアドバイスを届けてくれている、そう考えると聞法の大切さをしみじみ感じます。

## 2019 畑へ行こう!

### 子ども会員募集

昨年度好評だった「畑へ行こう!」。今年度もご縁があって開催することになりました。大地に触れ、命の育ちを実感できる貴重な体験です。下記のとおり実施しますので、詳細については徳泉寺にお問い合わせください。

- 日 4月から7月の第3日曜日  
(4月21日・5月19日・6月16日・7月21日)  
天候や作物の出来によって変わります。
- 時間 9:00~11:30
- 対象 中学生までの子どもとその家族  
(低学年以下は保護者同伴でお願いします)
- 場所 若林区日辺公会堂近くの畑
- 内容 植え、草取り、収穫、試食
- 作物 ジャガイモ、ダイコン、サニーレタスなど

すべての日に参加できなくても構いません。  
お気軽にお問い合わせください。